

今年度で43回目を数える児童生徒読書感想文コンクールに、今回も優秀な作品が数多く寄せられ、28点が入賞作品に選ばれました。各賞を受賞した児童・生徒の皆さんを紹介します。また今月から、各部門の最優秀作品を順次紹介していきます。
※コンクールの審査対象は小学校3年生以上。

第43回 児童生徒 読書感想文 コンクール



小学校の部 6年生
参加数 54点

▶最優秀賞/島津 佳歩さん (川湯小)

▶優秀賞
土屋 好輝 君(弟子屈小)
田中 佳恋 さん(弟子屈小)

選んだ本
チョコレート・アンダーグラウンド

小学校の部 5年生
参加数 48点

▶最優秀賞/佐々木 心優さん (弟子屈小)

▶優秀賞
田中 彩瞳 さん(弟子屈小)
土田 英恵 さん(和琴小)

選んだ本
光のうつしえ 廣島 ヒロシマ 広島

小学校の部 4年生
参加数 55点

▶最優秀賞/高橋 侑奨 君 (弟子屈小)

▶優秀賞
土屋 七星 さん(弟子屈小)
辻谷 杏 さん(奥春別小)
西田 共希 君(美留和小)

選んだ本
ガリバー旅行記

小学校の部 3年生
参加数 56点

▶最優秀賞/河西 莉杏さん (弟子屈小)

▶優秀賞
林 采音 さん(川湯小)
板垣 亜央 さん(奥春別小)

選んだ本
ガンジー (コミック版世界の伝記)

高等学校の部
参加数 78点

▶最優秀賞/西田 愛梨さん (弟子屈高2年)

▶優秀賞
村上 栞音 さん(第高1年)
江上 瑞希 さん(第高1年)
松田 翔太 君(第高2年)

選んだ本
さよなら、ベイビー

中学校の部 3年生
参加数 56点

▶最優秀賞/太田 愛菜さん (弟子屈中)

▶優秀賞
池上 知乃新 君(川湯中)
高本 琉花 さん(川湯中)
山川 菜 さん(川湯中)

選んだ本
世界から猫が消えたなら

中学校の部 2年生
参加数 58点

▶最優秀賞/土屋 光輝 君 (弟子屈中)

▶優秀賞
猿谷 優衣 さん(弟子屈中)
宮田 響夏 さん(弟子屈中)

選んだ本
円周率の謎を追う

中学校の部 1年生
参加数 43点

▶最優秀賞/金川 眞子 さん (弟子屈中)

▶優秀賞
神田 幸成 君(川湯中)
西田 一穂 君(弟子屈中)
江口 乙葉 さん(弟子屈中)

選んだ本
君が電話をかけていた場所

■小学校3年生の部 最優秀賞 人を笑顔にする、元気にする やさしさと勇氣

弟子屈小学校 河西 莉杏さん

わたしは、「ガンジーの世界伝記」という本を読みました。なぜこの本をえらんだかという、わたしは、伝記が好きで、まだガンジーの伝記は読んでいなかった、ので、えらびました。

この物語のあらすじをしょうかいます。「マハトマ・ガンジー」は、一八六九年の十月二日に生まれました。とてもやんちゃでしたが、大人になってからは、とても親切でやさしい人になりました。ですが、最後には、ガンジーのイスラム教徒への友好的な言動に反感をいだいた、かげきなヒンズー教徒に「ピストルでうたれ、なくなってしまう」と、次に心にのこったことをしょうかいます。

心にのこったことは、ガンジーが戦争へきゅう兵としてさんかし、たくさんの人を助けたところ、そこが心にのこりました。

理由は、自分より人をゆうせんして、とてもやさしいと思ったからです。もう一つ心にのこったところがあります。それは、ガンジーのこした言葉の一つです。その言葉は、「もしインドがぼう力でもぐりつを達成するならば、インドはわたしのほこりである国でなくなるといふこと。」

と言ったところです。

理由は、本を読んだときにがんばっていい国を目指していたので、この言葉が心にのこりました。さいごに勉強になったことです。勉強になったことは、心にのこったことに書いたように、「自分より人をゆうせんする。」それが勉強になりました。

理由は、自分にはあまりできないことだからです。人を元気にする、笑顔にするやさしさと勇氣。それがいいと思います。わたしには、弟がいます。けど、弟にものをゆうすたりできなくて、ケンカをしてしまいます。でもガンジーは、そういうことがないように人によびかけたり、いろいろと考えたりして、やさしく親切な人だと思いました。わたしが大人になったら、ガンジーのようなやさしく、親切な人になって、いろいろな人に感謝される人になりたいです。

(書名)「ガンジー (コミック版世界の伝記)」
長崎 暢子/監修

(寸評)本を読み進めながら、自分より人を優先するガンジーの優しさが心に残った莉杏さん。兄弟のことをふり返りながら、自分にはあまりゆずってあげていないと書いていますが「人に対する優しさと勇氣」の大切さに気づけたことが素晴らしいと思います。ガンジーのような、人に感謝される親切な人になれるといいですね。

■小学校4年生の部 最優秀賞 ガリバーみたいな勇氣を 弟子屈小学校 高橋 侑奨 君

ぼくは、「ガリバー旅行記」という本を読みました。この本を選んだのは、有名な本なので、一度読んでみたいと思ったからです。

この本は、冒険好きなガリバーという船医が主人公です。旅の中に、大あらしで船が転ぶくし、こびとの国や巨人の国に流れ着き、そこから予想外のことにまきこまれていく物語です。

ぼくがこの本を読んでいちばん心に残ったところは、リリパット国というこびとの国でとなりの国との戦争の手伝いをおねがいがされたガリバーが、誰もきかずけず解決したところ、となりの国の港には、たくさん軍艦がならんでいます。ガリバーは大きな体で海に入り、港にあらわれると、ときの兵隊は、そのすがたを見てあわてて岸にげきます。乗り捨てられた空の五十せきも軍艦をロープでたはね、せ中についで、リリパット国に持ち帰ります。その時ガリバーは王様、

「軍艦がなければ、戦争は出来ませんよ。戦争で命がなくなるより、すっといいでしょ。」
と言、英ゆうになりました。ぼくも、家族や友達と、ちょっとしたこと言い争いになることがあります。その時、よいいなことを言ってしまう、ますますけんかになり、こっかいします。

とがありました。きつと、自分のことしか考えず、相手を思いやる気持ちが足りなかったからなんだと思いました。

ぼくはこの本を読んで、ガリバーの正義感の強さがかっこいいと思いました。どんなじょうきょうに置かれても、決して手をぬかないからです。これからは、こまっている人がいたら、すすんで手伝ってあげられる、ガリバーのような心のやさしい、勇氣がある人になりたいと思いました。

(書名)「ガリバー旅行記」
ジョナサン スウィフト/作

(寸評)「ガリバー旅行記」を読んで、主人公の行動や引用文をもとに、心に残ったことをわかりやすく書いています。また、高橋さんが日常生活をふり返り、相手を思いやる心の大切さに気づくことができたことが素晴らしいと思います。ガリバーのように、心やさしく勇氣のある人になれるといいですね。

※そのほかの最優秀作品については、来月以降順次紹介していきます。

